

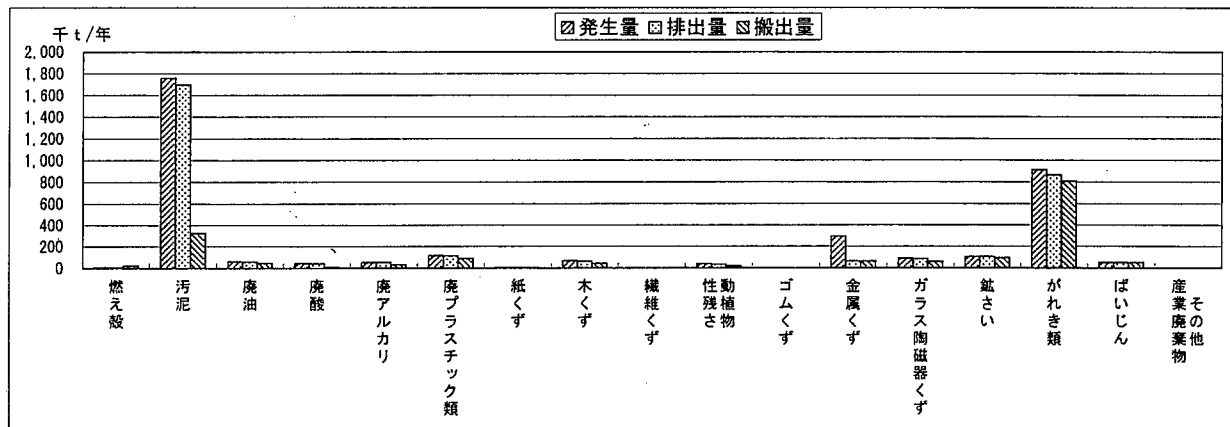
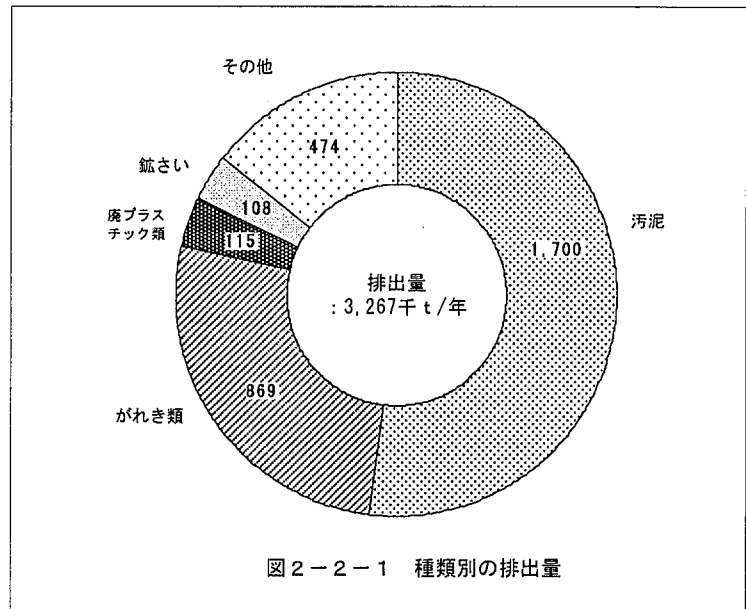
第2節 排出状況

1 種類別の排出状況

平成12年度に三重県内で排出された産業廃棄物は3,267千tである。

排出量を種類別にみると、汚泥が最も多く1,700千t(52%)、次いでがれき類869千t(27%)となっている。

なお、汚泥は、排出される時点では多量であるが、乾燥、脱水、焼却等の処理により大幅に減量されるため、搬出される時点ではがれき類が最も多く809千tとなっている。



(千t/年)	計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉍さい	がれき類	ばいじん	産業廃棄物その他
発生量	3,619	10	1,780	81	45	53	119	4	69	1	38	1	293	92	109	912	52	0
	(100%)	(0%)	(49%)	(2%)	(1%)	(1%)	(3%)	(0%)	(2%)	(0%)	(1%)	(0%)	(8%)	(3%)	(3%)	(25%)	(1%)	(0%)
排出量	3,267	10	1,700	80	41	53	115	4	63	1	35	1	65	88	108	869	52	0
	(100%)	(0%)	(52%)	(2%)	(1%)	(2%)	(4%)	(0%)	(2%)	(0%)	(1%)	(0%)	(2%)	(3%)	(3%)	(27%)	(2%)	(0%)
搬出量	1,871	23	324	45	9	32	92	3	43	0	19	1	65	59	95	809	52	0
	(100%)	(1%)	(19%)	(3%)	(1%)	(2%)	(5%)	(0%)	(3%)	(0%)	(1%)	(0%)	(4%)	(4%)	(6%)	(48%)	(3%)	(0%)

図2-2-2 種類別の発生量、排出量、搬出量

2 業種別の排出状況

排出量を業種別にみると、製造業が 1,779 千 t (54 %) と最も多く、次いで、建設業が 1,042 千 t (32 %)、電気・水道業が 403 千 t (12 %) を占めており、この 3 業種で全排出量の 99 % になっている。

なお、製造業からの汚泥は、自己中間処理により大幅に減量されるため、その結果自己中間処理による削減量の小さい建設業が、搬出量が最も多い業種となる。

また、同様に電気・水道業（特に下水道業）は、排出される汚泥のほとんどが、脱水等により減量されるため、排出量では全体の 12 % を占めるが、搬出量でみると全体の 3 % にまで減っている。

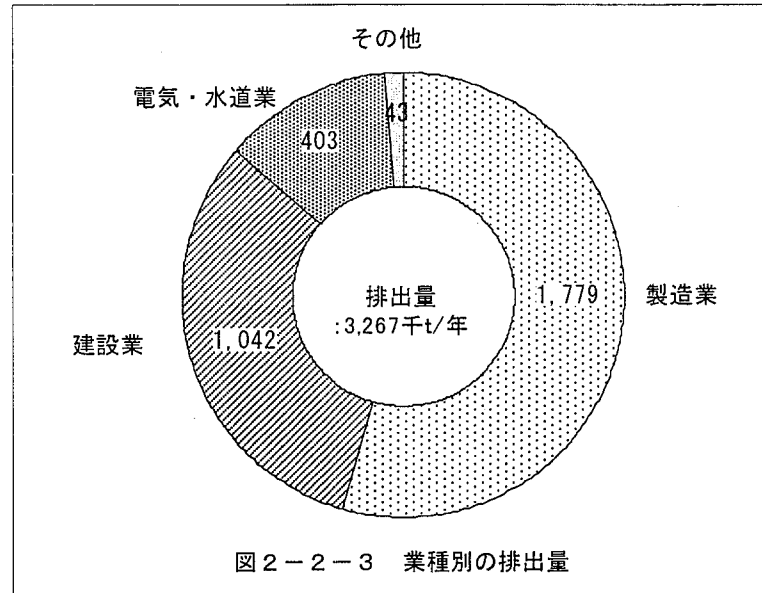
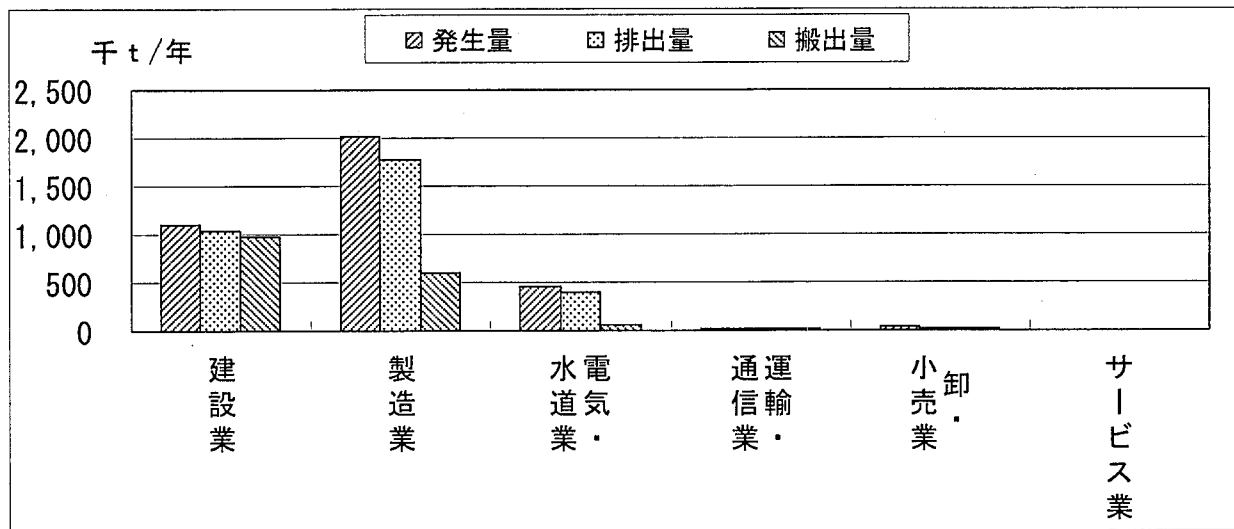


図 2-2-3 業種別の排出量



	計	建設業	製造業	電気・水道業	運輸・通信業	卸・小売業	サービス業
発生量	3,619 (100%)	1,091 (30%)	2,018 (56%)	463 (13%)	12 (0%)	31 (1%)	3 (0%)
排出量	3,267 (100%)	1,042 (32%)	1,779 (54%)	403 (12%)	12 (0%)	29 (1%)	3 (0%)
搬出量	1,671 (100%)	982 (59%)	593 (35%)	57 (3%)	11 (1%)	25 (2%)	3 (0%)

図 2-2-4 業種別の発生量、排出量、搬出量

3 地域別の排出状況

地域別の排出量は、四日市生活創造圏が 1,364 千 t (42%) で最も多く、次いで、津・久居生活創造圏が 510 千 t (16%)、鈴鹿・亀山生活創造圏が 321 千 t (10%) となっており、以下は、桑名・員弁生活創造圏、松阪・紀勢生活創造圏、伊賀生活創造圏、伊勢志摩生活創造圏、熊野生活創造圏、尾鷲生活創造圏の順となっている (図 2-2-5、図 2-2-6、図 2-2-7)。

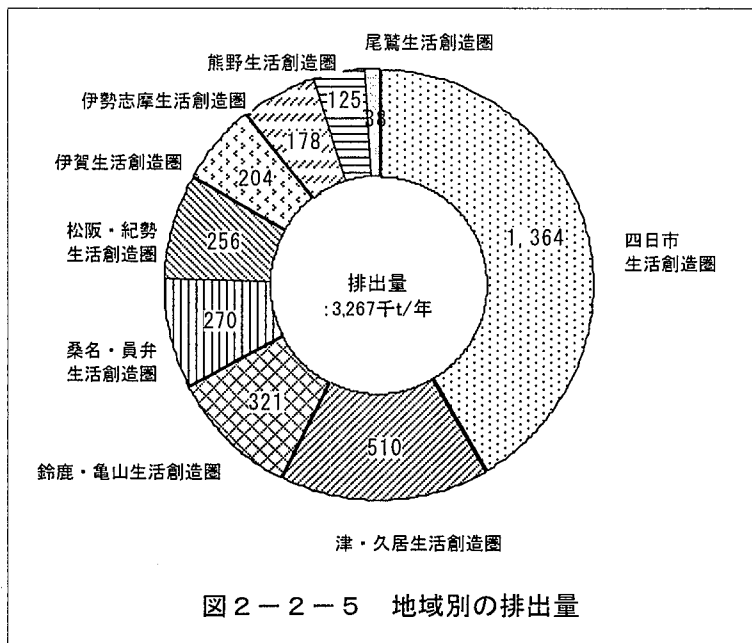
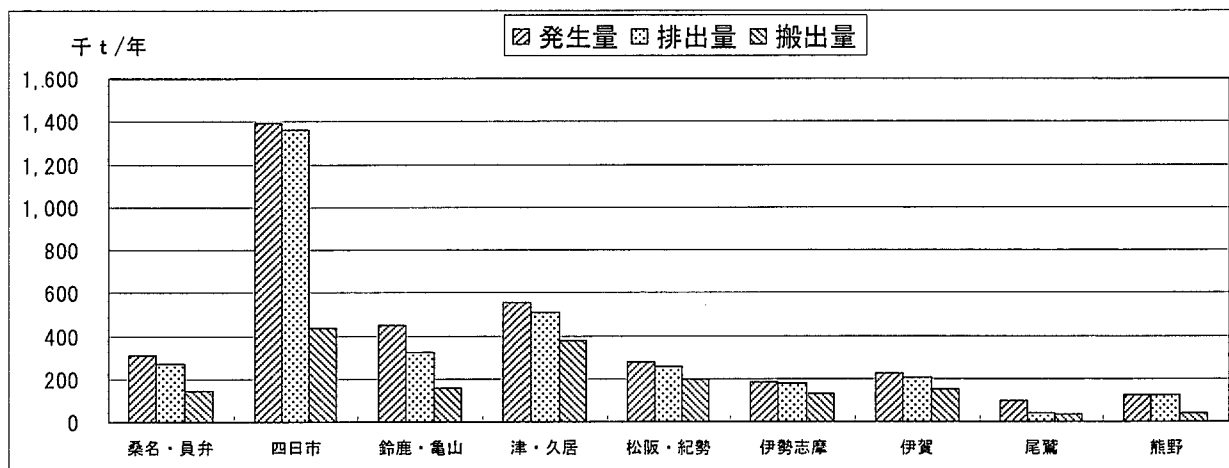


図 2-2-5 地域別の排出量



	計	桑名・員弁生活創造圏	四日市生活創造圏	鈴鹿・亀山生活創造圏	津・久居生活創造圏	松阪・紀勢生活創造圏	伊勢志摩生活創造圏	伊賀生活創造圏	尾鷲生活創造圏	熊野生活創造圏
発生量	3,619 (100%)	309 (9%)	1,398 (39%)	447 (12%)	554 (15%)	279 (8%)	184 (5%)	222 (6%)	99 (3%)	128 (4%)
排出量	3,267 (100%)	270 (8%)	1,364 (42%)	321 (10%)	510 (16%)	256 (8%)	178 (5%)	204 (6%)	38 (1%)	125 (4%)
搬出量	1,671 (100%)	146 (9%)	436 (26%)	160 (10%)	379 (23%)	199 (12%)	132 (8%)	152 (9%)	31 (2%)	37 (2%)

図 2-2-6 地域別の発生量、排出量、搬出量

